

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	272300807
法人名	社会福祉法人北光会
事業所名	あずみ野グループホーム
所在地 (電話番号)	〒0380241 青森県南津軽郡大鰐町鯖石字浅瀬淵35-5 (電話) 0172-49-1133

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 19日	評価確定日	平成19年 10月 15日

## 【情報提供票より】(平成 19年 7月 20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 10月 26日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 人, 常勤換算 16人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 7月 20日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	1 名	要介護2	9 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.3 歳	最低	73 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	大鰐病院・小山内医院・黎明郷病院・さとうデンタルクリニック
---------	-------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>国道の幹線から入った、風光明媚な環境であり、外観も木彫張りでもとも落ち着いた品のある建物である。ホーム内は更に天井が高く、床も壁もふんだんに木材を使用しており、木のぬくもりが漂っていた。個人が占めるスペースも十分にあり、プライバシーが確保されておりゆったりとした構造及び雰囲気であった。入居者と一緒に栽培した野菜をウッドデッキで食したり、素足で歩ける床等、利用者優先のケアを実践している。</p>
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>利用者個々の栄養状態の把握、摂取カロリーの把握について併設のデイサービスの栄養士と連携をとり、定期的に点検されることを期待されたが、まだ改善は十分といえず専門的なアドバイスを受けられることを期待したい。また、地域への発信という点についてホーム側から行政に働きかけるよう助言があったが、運営推進会議の開催時情報を発信され、行政との連携がとれてきている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価を受けた後もそのときだけで終わらない意識付けをしっかりと持ち、職員にも持続した意識が持てるよう取り組んでいく。また外部評価、自己評価をやってよかったと、意義あるものだと意識できるよう動機付けしていきたいという前向きな姿勢を持っている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域との交流について、参加者より地域へのグループホームの紹介や、災害時の協力の依頼等を行ったほうが良いと助言をいただいていた。その助言を基に現在取り組み、地域に根ざした活動を積極的に取り入れようと尽力している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>意見箱はあるが、具体的な意見は未だない。家族が意見を表出できる工夫を行い、面会時等思いを聞ける機会を意識的に増やして行こうという姿勢である。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会へ広報誌を3ヶ月に1回配布しており、気軽に立ち寄ってくれるよう働きかけている。この広報誌を通じてグループホームを理解していただき、隣組として班に入会していくことを検討している。また災害時の協力体制についても地域の集会に参加し話し合いの機会を設けることを取り決めていく。さらに地域の介護教室に参加し、認知症の講義を2回実施している。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者一人ひとりのサービス提供を主体とした独自の理念が明記されているが、地域での生活の継続という視点では十分とはいえない。		地域密着型のサービスの意義を職員全員で確認し、地域生活の継続や地域との交流に関する項目についても取り入れることを期待する。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時に運営理念を唱和し、ケアの実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会へ3ヶ月に1回広報誌を配布している。また気軽にホームへ立ち寄ってくれるよう働きかけを行っている。さらに災害時の消防の協力の依頼や、介護教室を開催し、認知症の理解を地域住民に広げている等、地域との交流がある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価、外部評価によるアドバイスを基に全職員が改善へ向けたケアを実践しているが、職員の意識が薄いところがある。</p>		<p>全職員が一丸となって、サービスの質の向上を図ることを期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催して状況を報告し、頂いた意見はサービス向上へと活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議やそれ以外でも現場の実情などを相談し、適切なアドバイスを頂いている。介護教室は町より受託している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在利用する入居者がいないため、職員が学ぶ機会を設けていない。</p>		<p>勉強会を開催したり、資料を配布したりして、必要時全職員が速やかに対応できるよう期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>言葉による虐待がないように注意はしているが、職員が学ぶ機会を設けていない。</p>		<p>高齢者虐待関連法について、資料配布や勉強会また、ミーティング時等に実施することを期待したい。</p>

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居時に説明を行い、理解を得ている。不安や疑問に対しても答えている。		
10	12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月入居者の状況を報告し、預かり金の明細書を送付している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族へ苦情申し出可能な窓口を紹介している。また意見箱設置等の体制がある。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職時は利用者へ説明を行い、不安を取り除いてるが、ユニット間での異動は互いに馴染みの関係になれるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画を立て、全職員が年に1回は研修に参加できるよう取り組んでいる。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流の取り組みはしていない。		関連の事業所等との交流会や一日体験及び研修会等を企画し、交流を図りながらサービスの質を向上させていく取り組みを期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	馴染みの関係ができるよう、入居前からデイサービス利用時にホームへ遊びに来てもらうなど、配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者本位を考慮し、菜園作りや調理等を利用者から学んだり、喜怒哀楽を共にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>担当職員を中心に本人の意向を把握している。意向を表出できない方には家族等へ意向の確認している。しかし、生活支援の視点からは不十分なところもみられる。</p>		<p>アセスメントシート等や日々のかかわりの中での言葉や表情などから、それとなく確認したり、生活を支えるためのアセスメントに取り組み、検討することを期待したい。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向と日々のケアの中から気づきを大切に介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとの見直しと、本人の状況の変化が生じたときは随時ケアの見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>予定日以外の通院や買い物等の外出及び本人や家族の状況に応じて個々の満足度を高める努力がみられる。</p>		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅時からのかかりつけ医を継続しており、常に相談ができアドバイスを受けている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から関係者と話し合い、最善の方針がとれるようにしている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者を尊重したコミュニケーションを行っており、ケアに心掛けている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の本人の気持ちを尊重して、個々の希望を取り入れた支援を行っている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立に入居者の好きなものを取り入れたり、食べられないものは代替食として提供している。また、毎食職員と一緒に談笑しながら食事を摂っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週最低2回の入浴援助及び個々の希望を最優先に対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々の能力を把握した上で、慣れ親しんできたことを取り入れ、意見を聞きながら援助している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>季節、気候、行事等、一人ひとりの習慣や楽しみごとを、最大限希望に合わせて戸外へ外出している。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束はしない事を原則とし、身体拘束は行われていないが、全職員の勉強会などによる意識の共有が図られていない。</p>		<p>高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修、資料配布、勉強会等の取り組みを期待する。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>施錠は行っていない。センサーにより人の出入りが判るようになっている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練を2ヶ月に1回行っている。地域の町内会への加入、消防の協力を得られるよう働きかけている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養のバランスや栄養摂取量の把握が不十分である。</p>		<p>併設の栄養士による栄養バランスや栄養摂取量について専門的なアドバイスをもらえるよう期待したい。</p>
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>手洗い、うがいの励行等により感染の予防に努めている。 感染予防マニュアル作成、予防接種を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
		居心地のよい共用空間づくり			
34	78	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物全体が木造でやさしい空間を出し、ホールや廊下は吹き抜けとなって天井は高く、開放感がある。玄関周辺も季節の花を植えており、窓からは、畑や花壇が見え季節感を十分出している。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮			
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物が居室に配置されている。家族の写真や遺影等本人の居心地のよい環境への配慮が行われている。		

 は、重点項目。